

日本PMO協会 研修概要資料

実践型プロジェクトマネジメント研修

体感型ワークを交えながら、即実践的かつ
貴社に最適な研修をご提供します



一般社団法人 日本PMO協会

Nippon Project Management Office Association (NPMO)

ごあいさつ



企業を取り巻く環境は以前にもましてスピーディーに変化しています。企業は急激な外部要因の変化しています。しかし、旧来の全社的な内部要因変革では、大きな母体を変革する相当の時間が求められるため、外部要因変化のスピードについていくことが極めて難しい時代になっています。今こそ全社戦略と連携した「小回りの利く」事業部や部門レベルのプロジェクトの事前・実施が必要なのではないでしょうか。

プロジェクトマネジメントはIT分野や大規模インフラ事業だけのマネジメント手法ではありません。未来に目標を設定し、それを期限内に達成させる業務は、日々の様々な企業活動の中で見られます。これらの身近な企業活動にプロジェクトマネジメントの手法は極めて有効です。

我々は皆様の身近にあるこれらの業務をプロジェクトマネジメントの知識と技術で支援するとともに、皆様のさらなる発展、日本におけるプロジェクトマネジメントとPMOのさらなる普及を目指してまいります。

伊藤 大輔
Daisuke Ito, MBA, PMP
代表理事 | Founder

経営管理修士 (MBA: Master of Business Administration)
米国PMI認定PMP (Project Management Professional)
CSM (認定スクラムマスター)
青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科(MBAプログラム) 講師
国立大学法人 群馬大学 理工学部 非常勤講師
トライセクター・カレッジ (プロジェクトマネジメント/イノベーションマネジメント) 講師

<経歴>

慶応義塾大学 経済学部 卒業
大手マーケティングCRM会社勤務経験
青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科卒業

<著書> 『担当になったら知っておきたい「プロジェクトマネジメント」実践講座』 (日本実業出版社)
『誰でもチームをゴールに導ける! 「プロジェクトリーダー実践教本」』 (日本実業出版社)
『最速の90日! 「新規事業成功バイブル」』 (現代書林)
『ポイント図解 プロジェクトマネジメントの基本が面白いほど身につく本』 (KADOKAWA)
『10歳からのプロジェクトマネジメント: 夢・目標をかなえる力がつく! (くもんこれからの学び)』 (くもん出版)



PMとPMO の普及を目指すコミュニティ。

- これからの日本を活性化する新しい力 -



日本PMO協会（NPMO）は、日本におけるプロジェクトマネジメントの普及と、その健全な普及を支えるPMO（Project Management Office）の普及を目指して活動しております。

NPMOは、より良い未来を創造するために、プロジェクトマネジメントを普及させたいという有志が集う場所です。

プロジェクトマネジメントを軸に人々がつながることで、その想いは実現できると確信しております。



- もっとPMを身近な存在に、もっとPM専門職が活躍できる日本に -

＜実践型プロジェクトマネジメント研修＞

講義の特徴

＜特徴1＞

プロジェクト（独自の目標が設定された有期限のお仕事）の本質の理解と、プロジェクトの成功に極めて重要な知識と技術の習得を通じ、「今日から使える」実践的プロジェクトマネジャーの育成を目指します。また経験豊富なプロジェクトマネジメント国際有資格者が、演習やグループワークを通じて「プロジェクト成功の秘訣」を伝えます。

＜特徴2＞

PMBOK®／アジャイルプロジェクトマネジメント／制約理論をはじめとする各種プロジェクトマネジメント技術と知識の共通点と豊富なプロジェクトマネジャーの現場経験から導き出された、明快かつ実践的な独自のプロジェクトマネジメント知識体系「3ステージ・プロジェクト™」をもとに講義します。

＜特徴3＞

講義は受講者とのインタラクティブな会話形式。ゲームやグループワークを取り入れ、「知っている」から「できている」を目指した参加型研修形式になっています。

＜特徴4＞

本研修コンテンツはプロジェクトマネジメントの知識と技術を有した一般社団法人日本PMO協会を構成するプロジェクトマネジメントの経験豊かな専門講師により提供されます。

＜実践型プロジェクトマネジメント研修＞

達成知識・技術目標

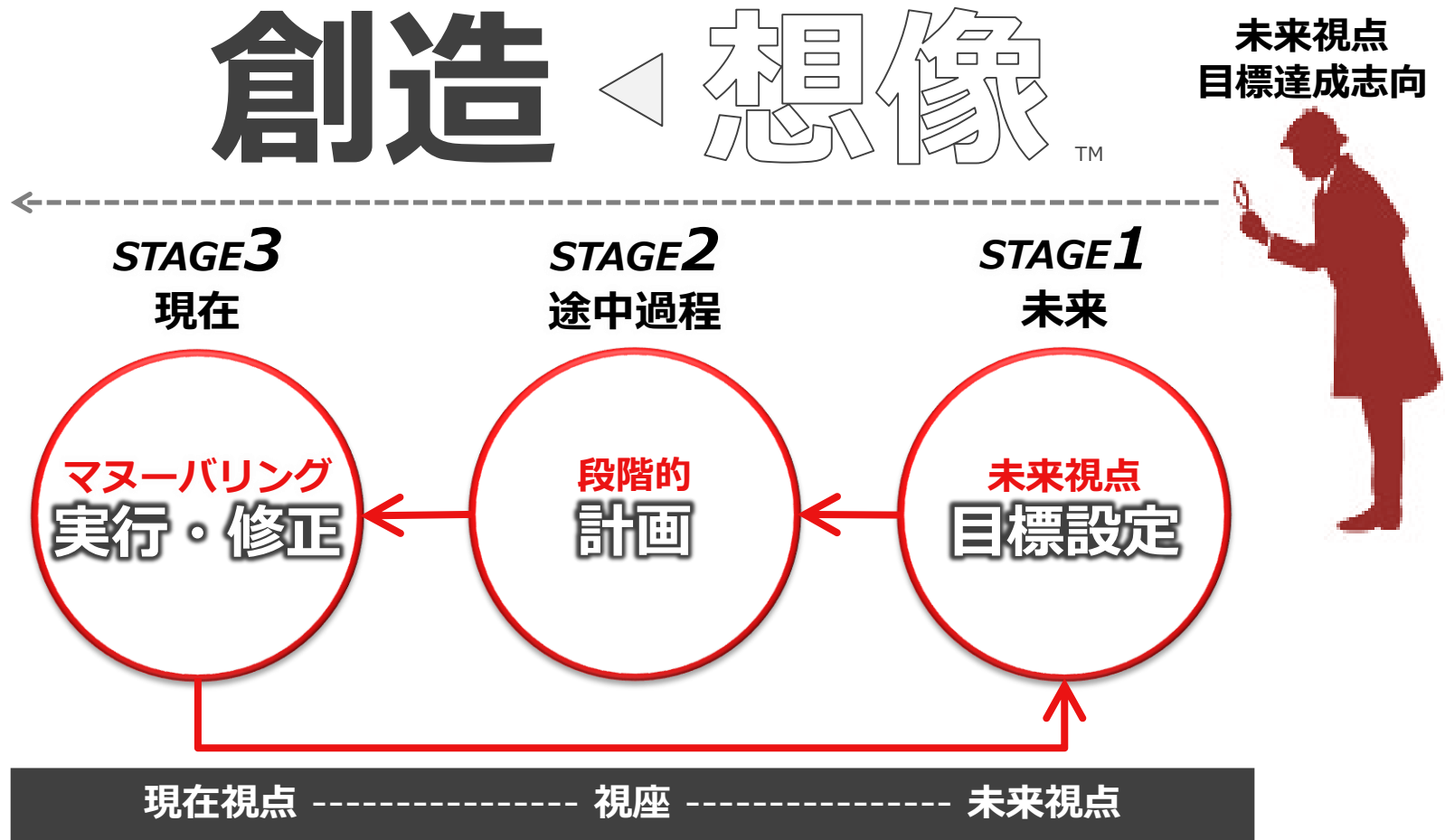
プロジェクトマネジメント研修の座学とグループワーク（体感型学習）を通じて、
目標設定力、計画力、実行力の向上を目指します。

- プロジェクト／プロジェクトマネジメントの基本および本質の理解
- プロジェクトマネジメントのフェーズの理解と各フェーズでの必要な知識と技術の習得
- プロジェクト成功に極めて重要なコンピテンシーの理解
 - 未来視点での目標設定技術
 - 段階的な計画技術
 - マヌーバリング（軌道修正型）の実行・修正技術
- プロジェクト成功に極めて重要なツールの知識と利用技術
 - プロジェクト・ビジョンシート（プロジェクト目的可視化）
 - プロジェクト宣言書（プロジェクト目標可視化）
 - WBS（作業分解図）
 - ガントチャート（作業工程表）
 - RACIチャート（責任分界マトリクス）
 - コスト管理表
 - リスク管理表
 - プロジェクト終了宣言書



3 ステージ・プロジェクト™

重要な概念



アート（経験的直感力・人間力 / プロジェクト成功に極めて重要な能力）

サイエンス（科学的論理力 / プロジェクトに共通に必要な知識と技術）

未来視点
目標達成志向



未来視点

視座

現在視点

未来視点
目標設定

STAGE1
未来

- プロジェクトビジョン作成
- プロジェクト宣言書作成/修正

段階的
計画

STAGE2
途中過程

- WBS作成/修正
- ガント+RACIチャート作成/修正
- コスト管理表作成/修正
- リスク管理表作成/修正

マヌーバリング
実行・修正

STAGE3
現在

- キックオフ（初回）
- プロジェクトチーム進捗管理
- ギャップ分析
- 変更会議
- プロジェクト終了宣言・解散（終了時）

プロジェクトマネジメントの最重要点。 目標・計画・進捗（実行）の可視化。



プロジェクトマネジメント研修スケジュール（標準1日 例）

プロジェクトマネジメント研修の座学とグループワーク（体感型学習）を通じて、

目標設定力、計画力、実行力の向上を目指します。 ※集合形式とオンライン形式で成果物の内容が異なる場合がございます。

スケジュール	時間（例）	成果物
●プロジェクトの概要（座学） 独自の目標を設定し、期限までに目標を達成させる一連の活動がプロジェクトである。このプロジェクトの基本的概念を学ぶ。	90分	①グループワーク成果物（A） ・マシマロタワー
●ステージ1「未来視点 目標設定」 第1ステージである「未来視点の目標設定」の知識と技法を学び、目標設定力の向上を目指す。	90分	②プロジェクトヴィジョンシート ③プロジェクト宣言書
●ステージ2「段階的 ダンドリ（計画）」 第2ステージである「段階的ダンドリ（計画）」の知識と技法を学び、不確実性に対応できる計画力の向上を目指す。		④WBS ⑤ガント+RACIチャート ⑥コスト管理表 ⑦リスク管理表
●実践グループワーク ケーススタディ「ROSEフラワーガーデン」をもとに、実際のプロジェクト目標設定、計画を行い、知識だけではなく体感を通じたプロジェクトマネジメントの習得を目指す。	180分	⑧グループワーク成果物（B） ・プロジェクト宣言書、WBS、ガント+RACIチャート、リスク管理表
●ステージ3「マヌーバリング 実行・修正」 第3ステージである「マヌーバリング実行・修正」の知識と技法を学び、変化に対応できるプロジェクト実行力の向上を目指す。	100分	
●研修振り返り／質疑応答 プロジェクトマネジメントツールである「プロジェクト終了書」を利用し、グループで研修の振り返り、教訓を明文化する。質疑応答で受講者の疑問を解決する。		⑨グループワーク成果物（C） ・プロジェクト終了書

別途、昼休憩60分、午前に10分休憩1回、午後に10分休憩1回を取ります。

納品物／成果物

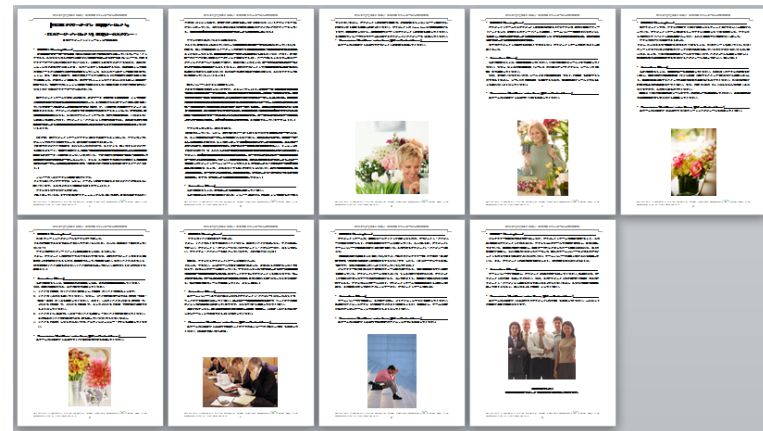
テキスト



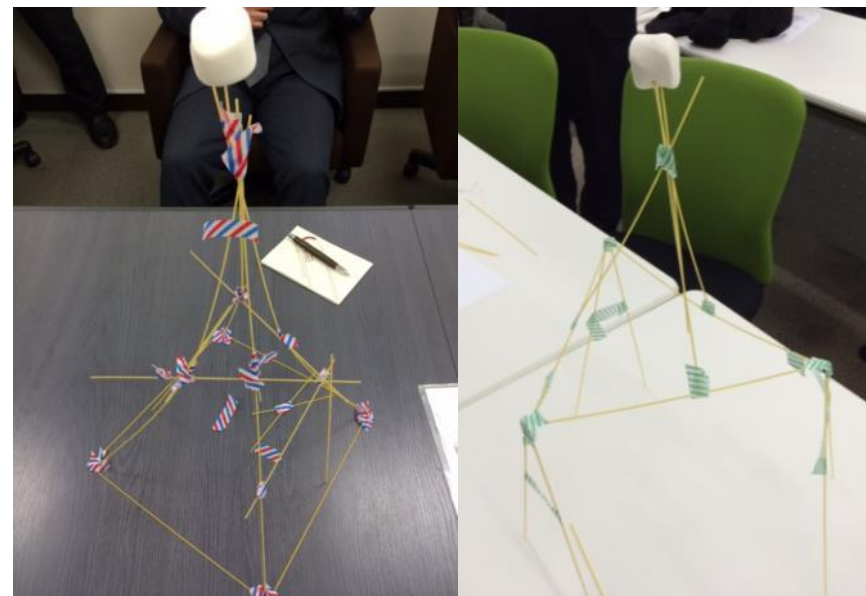
プロジェクトツール類 (MSエクセル版)



ケーススタディ



グループワーク成果物類（集合研修の場合）





協会名	一般社団法人 日本PMO協会 (英名: Nippon Project Management Office Association) (略称: NPMO)
設立	2014年3月4日
役員	代表理事 伊藤 大輔
事業内容	1. 資格制度の運営、資格の交付、資格に関する講座・セミナーの企画、立案、運営 2. 教育研修・研究会等の企画、立案、運営 3. コンサルティング業 4. 出版業 5. 会員組織運営に関する事業 6. 認定講師の教育、指導に関する事業 7. 広告・宣伝・マーケティングに関する事業 8. 人材採用支援に関する事業 9. システムの開発、運営に関する事業 10. 前各号に附帯関連する一切の事業
所在地	〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町 6 番 4 号 3 階 PROXIA GROUP
WEB	www.npmo.org
連絡先	TEL : 050-3631-2610 (NTT-Com IP Phone)